

静岡県漁業協同組合連合会

991 静岡市追手町 9-18

14.4.26 ☎ 054-254-6011

編集・発行 = 指導部漁政課

1. 2002年度漁協系統環境動向まとめ

JF全漁連では、このほど「2002年度のJFグループ（漁協系統）環境動向」をまとめました。これによると、現状個人消費は所得面での弱い動きに加えて消費マインドも低水準にあることから改善の見通しがないと指摘し、これが水産物の価格形成にも影響を及ぼし水産物の価格の低迷、水揚げ減少とともに輸入水産物の増加が加わった厳しい環境と分析しています。

この中で、2001年6月の通常国会で水産基本法が制定され水産業が国民に対して水産物を安定供給をする産業として明確に位置づけられたことは重要な意義があるとし、合併や事業統合を通じて自ら再編、基盤強化を強力に推し進め、水産基本法の受け皿となる組織として広く国民にJFグループの社会的な役割をアピールする絶好の機会としています。

また、本年2月のJFグループ漁協系統経営動向アンケート調査によると02年経常利益見込みは01年に比べ好転12%、前年並み43%、悪化45%でありました。

好転と見る漁連は、その要因として好漁と魚価回復、経費削減等による事業安定、合併による体質強化を挙げています。一方、悪化と見た漁連は、その要因に水揚げ不振、不況、消費低迷による魚価安、減船による取扱高の減少を挙げています。

漁連が、02年度の事業計画に盛り込みたい重点事項として 漁協合併、事業統合等組織強化の実践推進、魚価安定対策と経済事業・流通事業強化、資源管理型漁業の定着推進や水産物輸入問題対策が挙げられています。

2. 稲取沖にもマリンロボを設置

県は、去る4月6日稲取沖南8.3キロに「しずおかマリンロボ4号」を設置し、御前崎沖1号、天竜川沖2号、波勝岬沖3号に続いて運用を開始しました。

このマリンロボは、海上の気象、海洋情報を観測するとともに魚が海洋漂流物の周辺に集まる習性を利用し人工的に集める構造物として設置したものです。

これらのブイからは、気象情報として風向、風速、気温、気圧また、海洋情報として表面下5メートルと30メートル下の水温、表面下5メートルの潮流観測する機能を持たせ逐次この情報が県水産試験場に送られてくる仕組みになっています。

この情報は、漁業生産活動を行ううえにおいて極めて貴重なデータであり、これを誰でも利用することができることになっておりますので、各組合におかれましても組合員に対し活用への指導をお願いします。なお、アクセス番号は次の通りです。

電話 0 5 4 - 6 2 1 - 1 1 7 3、ファックス番号 0 5 4 - 6 2 1 - 1 6 2 1

3. 浜名湖養魚漁協新ウナギ加工場完成

浜名湖養魚漁協（野寄喜弘組合長）は、去る4月17日平成13年度内水面振興対策事業としてかねてより進めていた、新ウナギ加工場がこのほど完成し、県青山水産総室長、佐藤県信漁連会長、本会大崎専務、舞阪町長他約200人が出席し竣工式が行われました。

この工場は、総工費36,380万円で建設され、内部はH A C C Pに対応できるようエアーシャワー、低温空調設備が完備し、生産ラインには白焼機、蒸器、蒲焼機が設置されている他、様々な工夫が施されています。

また、加工されたウナギはスパイラル方式による急速冷凍設備により瞬時に冷凍処理され保管できる最新工場となっています。

当組合では、初年度の生産計画を72トン（活鰻120トン）を見込んでいます。

4. 全国で漁協合併が進み漁協数1,669組合に

JF全漁連強化・合併推進部の発表によると、2002年に入り全国で漁協合併や信用事業統合が一段と加速しており、4月1日には5県47漁協が合併し新たに6漁協が誕生しました。

これにより、全国沿岸区出資漁協数は1,700組合を割込み1,669組合となりましたが、この中には県下27漁協が合併し、一県一漁協を達成した大分県の例や秋田県下、12漁協中9組合が合併した広域大型合併も含まれています。

このほか、本年7月に三重県の17漁協が合併し「志摩の国漁協」が新たに誕生することや、来年4月の発足に向けて12漁協が合併仮契約をした鳥取県等の広域大型合併の動きが報じられています。また信用事業統合では、同様に4月1日から東京都、鹿児島県など7県で17漁協が信漁連に信用事業を譲渡しています。

5. 口坂本の森クラブ活動行われる（漁民の森づくり）

豊かな漁場を目指して平成12年4月にスタートした、口坂本の森クラブ活動が、去る4月20日日本会、県信漁連、由比港漁協婦人部、焼津漁協婦人部、県生協連より17名が参加し4月のすがすがしい緑の風薫る中で行われました。

今回は、これまでに植林を行った場所に山ザクラ、コナラ、クリ、アカシデなど40本を県中部農林事務所担当者の指導のもと補植作業を行い、併せてこれまでに植林した樹木の周辺に生えた下草を刈り、これら木の成長を祈りました。次回は、7月に下草刈りを中心に作業が行われる予定です。多数の参加者をお待ちしています。

6. 諸会議・日程（4月30日～5月13日）

4月30日（火）県漁港協会 = 第1回理事会（ブケ東海）

5月8日（水）県おさかな普及協議会 = 幹事会（水産会館）

5月9日（木）県沿岸漁業振興協会 = 監査会・第1回役員会（水産会館）

5月9日（木）県遊漁船業協会 = 監査会・第1回役員会（水産会館）

- お知らせ - 本紙次号は、ゴールデンウィークにつき5月10日となります